



由利本荘市商工会



大雨被害を受け、被災した地域の早期復興のため、 災害ボランティア活動を実施

取組の目的・背景

当会のSDGs達成に向けた宣言書の「SDGs達成に向けた重点的な取組」として、地域社会への積極的な還元活動を掲げている。2024年7月24日からの大雨により、本地域では敷地内への土砂流入、床上浸水、床下浸水等の被害が発生した。

この大雨被害を受けて、由利本荘市社会福祉協議会には7月26日、「由利本荘市災害ボランティアセンター」が開設された。当会では被災した地域の生活再建支援等の早期復興を目的に、本市社会福祉協議会を通じた災害ボランティア活動に協力した。

取組の内容

2024年7月31日から8月9日までの期間、家財の搬出作業、スコップ等使用した泥上げ作業、建物屋内外での清掃作業などボランティア活動を実施した。



- ・普遍性

今回の災害ボランティア活動は、本地域において今まさに必要な支援活動である。

- ・包摂性

本取組を行うことで、大雨被害により被災された方々への生活再建支援へと繋がる。

- ・参画型

本取組は、本市社会福祉協議会との連携した関係性を構築することが可能となり得る。

- ・統合性

災害ボランティア活動を通じて、SDGsの17の目標のうちの「11 住み続けられるまちづくりを」、「13 気候変動に具体的な対策を」の課題解決にも貢献できた。

- ・透明性と説明責任

本取組については、2024年8月20日に当会ホームページに掲載し、外部へ公表を行っている。

- ・あきたSDGsみらい加算

災害ボランティア活動を通じて、微力ながらSDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」に貢献できる。

■取組の実績・成果

災害ボランティア活動では、当会関係者延べ53名が参加し、地域復興に協力した。

今後の展望

今回のような災害ボランティア活動と当会のSDGs宣言書に掲げてある地域社会への積極的な還元活動を通じて、SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」の取り組みを進めていく。